

2023年6月30日

各位

上場会社名 東洋建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 大林東壽
 (コード番号 1890 東証プライム)
 問合せ先責任者 管理本部総務部長 時水久
 T E L 03-6361-5450

支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等

(2023年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合(%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
ダブリューケイ・ワン・ リミテッド(WK 1 Limited)	その他の 関係会社	9.76	17.46	27.22	—
インフロニア・ホール ディングス株式会社	その他の 関係会社	0.00	20.20	20.20	株式会社東京証券取引所 プライム市場
前田建設工業株式会 社	その他の 関係会社	20.20	—	20.20	—

注1. 「議決権所有割合」は、2023年3月31日現在の発行済株式総数 94,371,183 株から議決権を有しない株式数 77,183 株を控除した株式数 94,294,000 株に係る総株主の議決権の数 942,940 個を分母として計算し、小数点第三位を四捨五入しております。以下同じです。

注2. 上記の「合算対象分」は、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)の共同保有者であるダブリューケイ・ツー・リミテッド(WK 2 Limited)、ダブリューケイ・スリー・リミテッド(WK 3 Limited)及び合同会社 Yamauchi-No.10 Family Office の保有株券等の数に基づき記載しております。

注3. ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者から 2023年6月13日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)によれば、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者の同月6日時点の議決権所有割合は 28.51%とのことです。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号及び理由

ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)は、その共同保有者と併せて、2023年3月31日時点において当社議決権の 27.22%を所有しており、また、同年6月27日に開催された当社の第101回定時株主総会の結果、共同保有者である合同会社 Yamauchi No.10 Family Office(以下「YFO」といいます。)が選任を提案し可決された取締役の員数が、当社取締役会の過半数となったことから、本日時点において当社に与える影響が最も大きいと認められる会社はダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)となります。

3. 非上場の親会社等に関する決算情報の適時開示が免除されている理由

当社は、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者の議決権所有割合が 20%を超えたことを 2022 年4月 15 日に確認し、同社が当社の「その他の関係会社」(財務諸表等規則第8条第17 項第4号)に該当するものと認識したため同日付で適時開示を行いました。同年 5 月 16 日に YFO より主要株主やその他の関係会社には該当しない旨の回答があり、2023 年3月 31 日現在において、未だ決算情報の提供を受けておりません。

4. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係

2023 年 6 月 27 日に開催された当社の定時株主総会で、YFO が提案した役員候補者のうち、取締役 7 名及び監査役 1 名の選任が可決されました。また、同日開催の当社取締役会において、当該 7 名のうち 1 名が、当社の代表取締役会長に選定されました。ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者と当社との間に、それ以外の人的関係及び取引関係はありません。

また、当社は、インフロニア・ホールディングス株式会社の完全子会社である前田建設工業株式会社の持分法適用関連会社という位置付けにあります。前田建設工業株式会社とは「独立と協調」の精神で両者の強みを活かしたシナジー効果の実現を目的とした業務提携を行っております。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者からの事業上の制約はありません。なお、2023 年 6 月 27 日に開催された当社の定時株主総会で、YFO が提案した役員候補者のうち、取締役 7 名及び監査役 1 名の選任が可決されました。また、同日開催の当社取締役会において、当該 7 名のうち 1 名が、当社の代表取締役会長に選定されました。

また、当社は、当社独自の経営方針・戦略に基づき事業活動を行っておりますので、インフロニア・ホールディングス株式会社及び前田建設工業株式会社からの事業上の制約はありません。相互のメリットとしましては、民間建築工事や海外における共同受注、共同研究開発の実施などがあげられます。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

2023 年3月 31 日現在では、当社はダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者との間で取引関係及び人的関係はなく、また、当該株主からの事業上の制約もなく、当社独自の経営判断に基づき事業活動を行っていることから、当社の独立性は十分に確保されています。

また、上記のとおり、当社は、前田建設工業株式会社と「独立と協調」の精神で業務提携を行っており、インフロニア・ホールディングス株式会社及び前田建設工業株式会社からの事業上の制約はなく、当社独自の経営判断に基づき事業活動を行っていることから、当社の独立性は十分に確保されています。

5. 支配株主等との取引に関する事項

記載すべき重要な事項はありません。

6. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

重要な事案につきましては、当該取引が株主共同の利益を害することのないよう、取締役会の承認を得ることとしています。

以 上